

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

1	学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	2
	(1) 理学部理学科を設置する大学等の現状把握・分析	2
	(2) 地域・社会的動向等の現状把握・分析	2
	(3) 理学部理学科の趣旨目的, 教育内容, 定員設定等	3
	(4) 学生確保の見通し	4
	(5) 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果	10
2	人材需要の動向等社会の養成	10
	(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的 (概要)	10
	(2) 上記(1)が社会的, 地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観 的な根拠.....	11

学生の確保の見通し等を記載した書類

1 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 理学部理学科を設置する大学等の現状把握・分析

現在の理学部は5学科から編成され、各学科の教育組織や教育課程の独立性が高く、専門分野の教育に特化している。このため、新分野・融合領域に対応した教育研究を推進するうえで支障がある。また、社会的要請がある分野の人材（デジタル人材、グリーン人材、生命科学系人材）を育成することに特化した教育やグローバルな人材育成に特化した教育体制を分野横断的に構築することも困難である。

令和4年の大学院理工学研究科への改組や、異分野との融合を目指した大学院医薬理工学環、大学院持続可能社会創成学環の新設により、大学院においては分野横断的な教育体制が構築されることとなった。しかし、現在の理学部の学科に閉じこもった教育体制では、融合分野へ進学するための教育が困難である。さらに、現在の5学科構成では学科の独立性が高いため、入学後にミスマッチがあっても、分野の再選択が困難である。

上記の課題を解決するためには、現在の5学科体制ではなく、分野横断的な教育が可能なより融合的な組織へ再編することが必要であると考えている。

(2) 地域・社会的動向等の現状把握・分析

富山県の「新・富山県ものづくり産業未来戦略（平成31年3月策定）」において、デジタルものづくり・ビッグデータ、医薬工連携、環境・エネルギー、ロボット、高機能素材等が重点化分野に位置付けられており、第2次産業を主体とした工業が盛んな富山県では、このような人材の育成と供給は重要である。また、各種産業界においてグローバルな事業展開が進んでいることから、専門分野の能力を活かしつつ、グローバルに活躍できるグローバル人材の需要も高まっている。富山県内・北陸地域の自治体・産業界に対して、データサイエンスを活用できる人材やカーボンニュートラルにかかわる人材、これらに加えて地域の基幹産業である医薬品製造業において高い需要がある生命科学系人材及びグローバル人材を供給していく上で、地域の「知」の拠点たる富山大学が社会に有為な人材を輩出していく必要がある。

富山大学では令和4年度に修士課程を改組し、理工学各分野の分野融合教育を行う理工学研究科に加え、医薬理工の融合系である医薬理工学環や、文理融合系の持続可能社会創生学環（グローバルSDGsプログラム）を設置した。これにより、地域随一の総合大学として特徴を生かした横断的な教育を可能とする体制へと生まれ変わり、社会・地域の必要とする高度理系人材や文理融合系人材を輩出できるようになった。これらの人材を育成するため、理工系、医薬理工の融合系、及び、文理融合系の大学院の基礎となる学部の一つである理学部において一層融合教育を推進し、大学院への円滑な接続を可能とすることも必要である。

(3) 理学部理学科の趣旨目的、教育内容、定員設定等

1) 趣旨目的、教育内容

(1) 及び(2)で示した課題を解決するために、現在の理学部5学科から理学科1学科への改組を行う。理学科には6プログラム(数学、数理情報学、物理学、化学、生物科学、自然環境科学)を置く。

富山大学理学部は、自然を律している基本的な原理や法則を究め、その成果に基づいた教育を行うことを使命としている。この使命のもと、改組後の理学部理学科においても、豊かな人間性と国際的視野及び高い研究能力を有し、リーダーシップをもって社会で活躍できる人材を育成するため、教養教育を重視するとともに、理学全般の基礎学力、幅広い視野から課題解決が出来る応用力を培う教育研究を推進することを教育目標として教育研究を行う。

理学部改組にあたって、現代の社会的要請を背景に以下のような人材養成を目的として教育研究を行う。

理学の各専門分野の知識と専門とは異なる分野の知識を総合的に活用しながら論理的思考により課題を解析し、課題解決を行う事のできる人材を育成するとともに、幅広い知識及びデータサイエンスについての基礎的素養を活用した応用能力を十分に備えたデジタル人材、カーボンニュートラルの達成に関わるグリーン人材、生命科学系人材といった現代社会の課題解決に対応できる人材を育成することを目的としている。

さらに、国際コースを設けることによって、グローバルな課題の解決を図り世界に貢献できるグローバル人材を育成することを目的とする。

1学科へと改組することで、分野横断的な教育の実施が可能となり、社会的要請がある分野の人材(デジタル人材、グリーン人材、生命科学系人材、グローバル人材)が育成できる。

また、学生の志望とのミスマッチを防ぎ、分野間の障壁を下げるため、入学時には所属プログラムを決めずに、科目ごとに定員を設ける大括り入試を行い、2年次にプログラムを選択するレイトスペシャライゼーションが可能な教育体制とする。

1年次において共通教育(教養教育、理学部共通教育)により、幅広い教養を身につけるとともに、理学の基盤となる素養とデータサイエンスの基礎を身につける。2年次進級時にプログラムを選択し、2年次以降にプログラム専門科目(プログラム基盤科目、プログラム発展科目)によって各専門分野の教育を受けるとともに、他プログラムのプログラム基盤科目の修得により幅広い学識を身につける。また、横断科目として開講するデータサイエンスやエネルギー・グリーン科学に関する科目や他学部と連携した科目を、プログラム横断的に履修する。4年次からは各プログラムの卒業研究により、専門分野を中心とした総合的能力や課題解決能力を養う。国際コースでは、上記の共通教育、プログラム専門科目及び横断科目に加えて、国際化対応科目の英語コミュニケーションと海外研修を2年次以降に必修科目として履修する。

2) 定員設定

理学部は地域的・社会的ニーズが高い理系人材を養成しており、再編により社会的要請がある分野の人材（デジタル人材、グリーン人材、生命科学系人材、グローバル人材）育成を強化していく。中でも、デジタル化の加速度的な進展に対応するため、デジタル分野の人材の育成は社会的要請が高く、地域の幅広い産業において効率化や競争力強化をもたらして地域の活性化につながるものとして重視されている。このことから、デジタル分野の人材増加のために当該人材育成に関わる数理情報学プログラムを新設することに加えて、当該人材の育成が急務であることから、社会の要請に応えるため、理学部定員を増やし、高度情報専門人材の育成を強化する。

これらの人材育成を達成するために、「理学」の幅広い知識を身につけ、専門分野の知識と技能を体系的に学ぶカリキュラムを実施し、課題解決能力を身につけるために、少人数の実験・実習を設定する。

過去5年間（平成30年度から令和4年度）の理学部全体の受験倍率は5.4倍と十分な受験者数を確保していることに加え、地域的・社会的ニーズが高い分野の教育を充実させることで更なる受験生の増加が見込まれるため、高度情報専門人材の育成の強化する目的で理学科の入学定員を増員することとしたいが、カリキュラムの実施に必要な教室、実験室及び実験設備などの物理的な要因並びに教員数等の関係から総合的に判断した結果、改組前の理学部の入学定員193名に、高度情報専門人材の育成の強化のため15名を増員し、合計208名と設定した。

3) 入学金、授業料等の学生納付金の額と設定根拠

学生納付金については、「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」により標準額が定められており、各国立大学法人が一定の範囲内でそれぞれ決定することとなっている。本学は「富山大学における授業料その他の費用に関する規則」【資料1】のとおり、国が定める標準額と同じく年額535,800円、入学科282,000円を設定する。

(4) 学生確保の見通し

1) 学生確保の見通しの調査結果、2) 新設学部等の分野の動向、3) 中長期的な18歳人口の全国的、地域的動向等既設、4) 競合校の状況、5) 既設学部等の学生確保の状況において、の5つの事項の観点から検討・分析した結果、本学科の入学定員を既設学科の入学定員から15名増やした208名としても、十分に充足できる見込みがあると判断できる。

1) 学生確保の見通しの調査結果

改組後の理学部が高等学校の生徒のニーズと合致していることとともに、改組後の理学部の定員充足状況を確認するため、本学部に入実績のある高等学校の在学学生（2年生）を対象に改組案に対するアンケート調査を行った。

本アンケート調査は、同時期に改組を進めている経済学部と共同で行った（「富山大学経済学部経済経営学科（仮称）及び理学部理学科（仮称）に関するアンケート」）。【資料2】

アンケートは過去5年間に両学部もしくはどちらか一方に入学実績のある北陸3県と岐阜県、長野県を加えた5県の34校に対して令和5年2月3日から2月22日まで実施し、4,294名の生徒から回答を得ている。アンケートの実施にあたっては、改組構想について説明する資料を配布し、改組の概要と新しい理学部の特色を伝えたくうえで、理学部への受験意向と入学意向、理学部の特色に対する魅力度などを尋ねている。

調査の結果では、4,294件の回答が得られた。そのうち、興味のある学問分野を尋ねたところ、学問系統として理学部の学問内容と関連する「理学」は14.9%、「情報科学・データサイエンス学」は10.2%、「農学・水産学」は6.5%の回答があった。

今回は、経済学部との合同調査ということで、回答者の属性として理学部志望者と経済学部志望者が混在する形となっているため、以下の分析では、「質問6 あなたは、どのような学問に興味がありますか」で「理学」「情報科学・データサイエンス学」「農学・水産学」のうち少なくとも1つに興味があると回答し、理学部の設問に回答があった970名を対象として分析する。

アンケートでは、今回の改組の4つの大きな特色についてその魅力度を尋ねている（質問7～11）。

質問7

「入学後に専門分野を選択するカリキュラムとなっており、1年生で理学の基礎を学んだ後に、2年生で自分の学びたいプログラムを6プログラムから選択できます。」

この結果は表1のとおりであるが、「どのプログラムにするかは受験時ではなく入学後に選択」できることに対して、89.5%の生徒が魅力を感じる（「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計：以下同様）と回答しており、この特色に関して極めて魅力的に映っていることがわかる。

表1 質問7の集計結果

	回答数	構成比
とても魅力を感じる	313	32.3%
ある程度魅力を感じる	555	57.2%
あまり魅力を感じない	76	7.8%
まったく魅力を感じない	26	2.7%
合計	970	—

質問8

「各プログラムでは、それぞれの専門分野の内容を深く学ぶと同時に、異なるプログラムの科目を学び、幅広く理学の知識を身につけることができます。」

この結果は表2のとおりであるが、「専門分野の内容を深く学ぶこと」ができることと

同時に「幅広い理学の知識を身につけること」ができることに対して、90.4%の生徒が魅力を感じると回答しており、この特色に関して極めて魅力的に映っていることがわかる。

表2 質問8の集計結果

	回答数	構成比
とても魅力を感じる	347	35.8%
ある程度魅力を感じる	530	54.6%
あまり魅力を感じない	67	6.9%
まったく魅力を感じない	26	2.7%
合計	970	—

質問9

「新たに設けた数理情報学プログラムでは、数理情報のエキスパートとして情報化社会で活躍する能力を身につけることができます。また、生物科学プログラムでは、生物学に加え、生命科学に関する応用的な知識や技術を身につけることができます。」

この結果は表3のとおりであるが、「数理情報のエキスパートとして情報化社会で活躍する能力を身につけること」ができること、又は「生命科学に関する応用的な知識や技術を身につけること」ができることに対して、87.0%の生徒が魅力を感じると回答しており、情報化社会で活躍する能力や生命科学に関する応用的な知識や技術の取得に関して極めて魅力的に映っていることがわかる。

表3 質問9の集計結果

	回答数	構成比
とても魅力を感じる	344	35.5%
ある程度魅力を感じる	500	51.5%
あまり魅力を感じない	97	10.0%
まったく魅力を感じない	29	3.0%
合計	970	—

質問10

「医療やSDGsなどに関して他学部と連携した科目があり、社会で活躍するための能力と専門分野の枠を超えた幅広い知識を身につけることができます。」

この結果は表4のとおりであるが、「医療やSDGsなど他学部と連携した科目」ができること、それにより「社会で活躍するための能力と専門分野の枠を超えた幅広い知識

を身につける」ことができるに対しても、82.2%の生徒が魅力を感じると回答しており、この特色に対する魅力・関心の高さがうかがえる結果となっている。

表4 質問10の集計結果

	回答数	構成比
とても魅力を感じる	315	32.5%
ある程度魅力を感じる	482	49.7%
あまり魅力を感じない	129	13.3%
まったく魅力を感じない	44	4.5%
合計	834	—

質問11

「各プログラムには国際コースがあり、国際コース選択者は、留学に必要な語学力を身につける科目や海外研修により、国際的な視野と海外でも活躍できる力が身に付きます。」

この結果は表5のとおりであるが、「国際コースについて、留学に必要な語学力を身につける科目や海外研修」ができること、それにより「国際的な視野と海外でも活躍できる力を身につける」ことができるに対しても、78.5%の生徒が魅力を感じると回答しており、国際コースに対する魅力・関心の高さがうかがえる結果となっている。

表5 質問11の集計結果

	回答数	構成比
とても魅力を感じる	312	32.2%
ある程度魅力を感じる	449	46.3%
あまり魅力を感じない	170	17.5%
まったく魅力を感じない	39	4.0%
合計	970	—

上記のような改組後の新しい理学部の特色を踏まえた上で、本学部を「受験したいと思う」と回答した者は419人であった。この受験意向者419人のうち、「合格したら入学したい」と回答した者は389人であり、入学定員数に対する受験意向者数の割合は2.01倍、入学意向者数の割合は1.87倍であった。今回の調査は、北陸3県及び岐阜県、長野県に絞って実施したが、理学部では約60%が、今回調査した都道府県以外からの志願者となっている。

以上により、改組後の理学部においても、十分な志願者を確保し、定員を充足できるものと判断する。

2) 新設学部等の分野の動向

理学部を有する近隣大学としては、信州大学、新潟大学がある。

これらの大学における理学部の過去3年間(令和2年度から令和4年度)の志願倍率は、信州大学で4.1倍[表6]、新潟大学では2.3倍[表7]となっており、理学分野における志願倍率は安定して2倍以上の倍率を保っており、今後も大学における理学分野への志望者は十分に見込めると考えられる。

表6 信州大学理学部 令和2年度～令和4年度 入学者志願状況等

	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
令和2年度	205	809 (3.9倍)	494 (2.4倍)	236	205	1.00
令和3年度	205	916 (4.5倍)	554 (2.7倍)	228	205	1.00
令和4年度	205	783 (3.8倍)	466 (2.3倍)	232	209	1.01
平均		836 (4.1倍)	505 (2.5倍)	232	206	1.00

※ () の中は、志願倍率、受験倍率を示す。

表7 新潟大学理学部 令和2年度～令和4年度 入学者志願状況等

	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
令和2年度	200	479 (2.4倍)	346 (1.7倍)	230	213	1.06
令和3年度	200	455 (2.3倍)	334 (1.7倍)	226	213	1.06
令和4年度	200	461 (2.3倍)	355 (1.8倍)	217	208	1.04
平均		465 (2.3倍)	345 (1.7倍)	224	211	1.05

※ () の中は、志願倍率、受験倍率を示す。

3) 中長期的な18歳人口の全国的、地域的動向等

平成29年度から令和3年度の富山県及び全国の18歳人口の推移と令和10年度までの18歳人口の予測数は【資料3】のとおり。今後、18歳人口は、令和4年から令和10年の間で、全国で5.1%減少、富山県で13.7%減少することが見込まれ、全国と比較しても富山県における18歳人口の減少が著しい。本学理学部の都道府県別の入学者・受験者ともに最も多い県は富山県であるが、受験者全体に占める割合は過去3年平均(令和2年度～令和4年度)で13.4%

[表8]となっており、県内だけでなく広く全国から受験者を集めている。

令和4年度の県内・県外出身者の受験者数[表8]に令和10年度の令和4年度人口比は【資料3】を乗じて算出される令和10年度の受験者見込み数は883名(県内出身者93名, 県外出身者790名), 想定受験倍率は4.2倍となり, 当面は十分な受験者の確保が可能であると判断できる。

表8 令和2年度～令和4年度 富山大学理学部 県内・県外別受験者状況

	受験者数	うち 県内出身者	県内出身者 割合	うち 県外出身者	県外出身者 割合
令和2年度	1,045	154	14.7%	891	85.3%
令和3年度	861	121	14.1%	740	85.9%
令和4年度	941	108	11.5%	833	88.5%
平均	949	128	13.4%	821	86.6%

4) 競合校の状況

北信越地方(富山県, 石川県, 福井県, 長野県, 新潟県)の国立大学のうち, 理学の学位を授与している学部等は, 金沢大学理工学域, 信州大学理学部, 新潟大学理学部である。このうち, 金沢大学理工学域は理工学分野であるため, 理学分野に限定すれば, 信州大学理学部及び新潟大学理学部が本学理学部の競合校となる。両校の過去3年平均(令和2年度～令和4年度)の受験倍率は, 信州大学理学部で2.5倍[表6], 新潟大学理学部で1.7倍[表7]となっている。一方, 本学理学部は4.9倍[表9]であるため, 競合校と比較しても定員確保は問題ないと考えられる。

表9 令和2年度～令和4年度 富山大学理学部 入学者志願状況等

	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
令和2年度	190	1,409 (7.4倍)	1,045 (5.5倍)	223	197	1.03
令和3年度	190	1,233 (6.5倍)	861 (4.5倍)	222	203	1.06
令和4年度	193	1,394 (7.2倍)	941 (4.9倍)	236	197	1.02
平均		1,345 (7.0倍)	949 (4.9倍)	227	199	1.03

※ () の中は, 志願倍率, 受験倍率を示す。

5) 既設学部等の学生確保の状況

過去5年間(平成30年度から令和4年度)の理学部全体の志願倍率は7.4倍, 受験倍率は

5.4倍【資料4】であり、定員を充足するだけの十分な受験者数を確保している。また、全ての学科で受験倍率は2.9倍以上であり、理学部のいずれの分野においても、学生の需要は十分にあると考えられる。理学部改組後の入学定員を15名増やした208名として、過去5年間の理学部全体の志願者数及び受験者数をもとに、想定される志願倍率及び受験倍率を算出すると、志願倍率は6.8倍、受験倍率は4.9倍となり、改組後においても、十分な受験倍率を維持できるだけの受験者を集めることができ、定員充足も問題ないと判断できる。

(5) 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

富山県内を中心とする北陸地区の高等学校に対して以下の広報活動を行い、新理学部の魅力を発信する。これによって受験生の増加を図っていく。

①リーフレット作成と高校訪問

令和5年7月には改組後の理学部を紹介するリーフレットの作成を予定している。リーフレットが完成次第、進学実績のある高校の進路指導担当者に今回の改組の趣旨を説明したうえで、高校生へのリーフレット配布を依頼する予定であり、大きな宣伝効果が期待できる。

②オープンキャンパス

例年、8月にオープンキャンパスを開催しており、多くの受験生が参加している。令和4年度は8月6日(土)に開催し、理学部だけで高校生365名、既卒者、保護者等173名の参加者があった。令和5年度も同様の日程で開催予定であり、受験生、保護者、及び高校の教員などに改組後の理学部の入試制度や教育体制を直接伝える機会となり、大きな効果が期待できる。

③ウェブサイトによる広報

富山大学理学部では、ウェブサイトを利用した広報活動を行っており、現在も継続的に入試情報や特色ある教育の紹介のほか、学部生のインタビューなどを掲載している。ウェブサイトを利用した広報活動はかなりの効果が期待できるため、今後、できるだけ早い時期に新しい理学部理学科の紹介ページを作成し、情報の周知に努める。

2 人材需要の動向等社会の養成

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(概要)

理学部理学科で養成する人材像は以下の通りである。

理学に関する幅広い知識に併せ、数学、数理情報学、物理学、化学、生物科学及び自然環境科学の各分野の専門知識と技術を持ち、自らの専門分野に止まらず、専門とは異なる分野の知識を総合的に活用しながら論理的思考により課題解決を通して、社会に貢献できる人材。また、数学、数理情報学、物理学、化学、生物科学及び自然環境科学の各分野の専門知識や技術を身につけるとともに、国際的な視野で課題解決に当たり、情報を発信できる人材。

これらの社会的ニーズに応える専門職業人や研究者を育成していくことを目的として、理学部では教育研究を遂行する。

(2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

1) 社会的、地域的な人材需要の動向

富山県の「新・富山県ものづくり産業未来戦略(平成31年3月策定)」は、県内のものづくり産業発展のための競争力強化を効果的に進めるための短中期的な本県産業振興施策へ反映させる指針として位置づけられている。本戦略において6つの施策の方向性をもとに「本戦略推進にあたっての必要となる取組み」が示されているおり、理学部で養成する人材は、これらを踏まえたものとなっている。

「本戦略推進にあたっての必要となる取組み」の「1. とやま成長産業創造プロジェクトの推進」では、「富山県ものづくり産業未来戦略」(平成26年5月に策定)において、今後大きな成長が期待される6つの分野として推進されている、①医薬・バイオ、②医薬工連携、③次世代自動車、④航空機、⑤ロボット、⑥環境・エネルギーに係る取組みに加え、新たな分野として⑦ヘルスケアを加え、これらを「とやま成長産業創造プロジェクト」として位置づけて重点的に推進する。」としている。理学部が育成する、理学に関する幅広い知識に併せ、数学、数理情報学、物理学、化学、生物科学及び自然環境科学の各分野の専門知識と技術を持ち、自らの専門分野に止まらず、専門とは異なる分野の知識を総合的に活用して、課題解決できる人材及び、富山県の中核産業の医薬・バイオやヘルスケアに対応する生命科学人材や、社会的要請が高まっているカーボンニュートラルの達成などの環境・エネルギー分野の人材、といった理系人材が、今後の富山県の成長産業創造に必要な人材に対応している。

「本戦略推進にあたっての必要となる取組み」の「2 分野横断的なイノベーション手法による新たな付加価値や新事業の創出」及び「3 ものづくり人材の育成・確保」においては、それぞれ、「IoTやAIなどの第4次産業革命の技術革新を活用して生産性向上を図るとともに、新たな付加価値の創出による「コネクティッド富山」の形成を目指す」ことや、「IoTやAIなどの技術を県内企業に普及させ、生産性の向上や新たな付加価値の創出を図るためには、IoT等のデジタル技術など先端技術を活用できる人材の育成・確保が重要である。」として、デジタル系人材の必要性が高まっていることが示されている。これを踏まえて、理学部では、ものづくり産業の幅広い分野において、データサイエンスを活用する能力を備え、理学の各専門分野の知識と異分野の知識を総合的に活用して課題解決に対応できる人材を育成する。

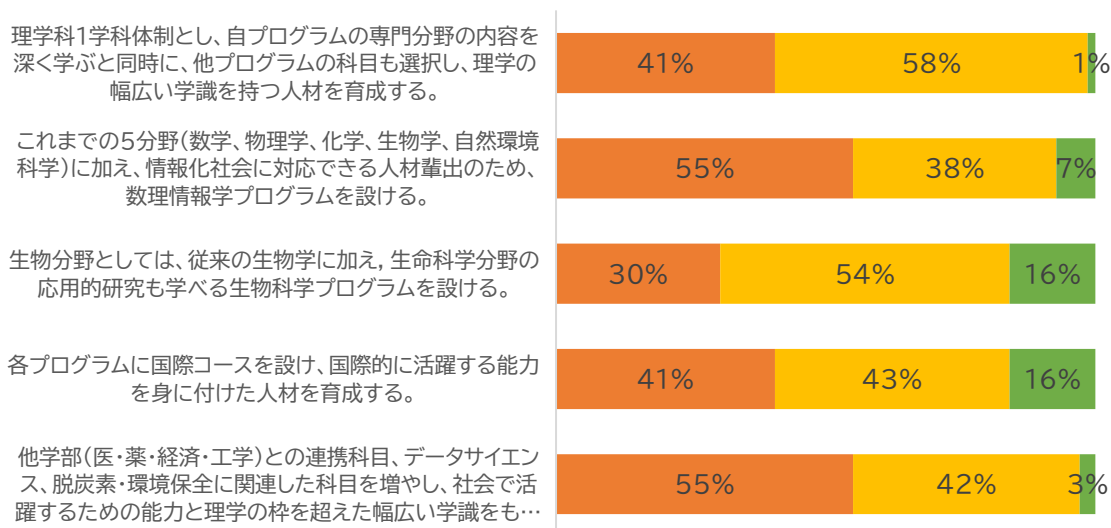
「本戦略推進にあたっての必要となる取組み」の「5 アジア等の海外展開への支援」において、「今後は、環日本海諸国だけでなく、成長が著しいアジア地域(インド、東南アジア等)との一層の連携が重要であり、県内企業が県内の本社、研究開発拠点、マザー工場等を維持・安定することを前提として、国際的な物流ネットワークの形成を図りつつ、県内企業のグローバルなビジネス展開や販路開拓を支援していく必要がある。」として、ものづくり産業がグローバルに展開するために必要な、確かな語学力によるコミュニケーションと論理的思考が求められているため、理学部では数学、数理情報学、物理学、化学、生物科学及び自然環境科学の各分野の専門知識や技術を身につけるとともに、国際的な視野で課題解決に当たり、情報を発信できるグローバル人材を育成する。

2) 卒業後の進路に関する調査結果の概要

卒業後の進路に関する調査として、本学部の卒業生を採用している企業にアンケート調査【資料5】を行った。その結果、69社から回答があった。

企業からの採用意欲について、理学部理学科を卒業もしくは卒業後に大学院を修了した学生を採用したいと思われませんかの質問に対し、99%の企業(68社)が採用したいと回答しており、本学部の卒業生に対する高い期待を有していると言える。

また、各企業に対して理学部の教育に関してどの程度魅力を感じるか質問を行った結果、以下の回答が得られた。



■とても魅力を感じる ■ある程度魅力を感じる ■あまり魅力を感じない ■全然魅力を感じない

1) 理学科1学科体制とし、自プログラムの専門分野の内容を深く学ぶと同時に、他プログラムの科目も選択し、理学の幅広い学識を持つ人材を育成する。

「とても魅力を感じる：41%」、「ある程度魅力を感じる：58%」と、回答した企業の99%から魅力を感じていると回答があった。

2) これまでの5分野(数学、物理学、化学、生物学、自然環境科学)に加え、情報化社会に対応できる人材輩出のため、数理情報学プログラムを設ける。

「とても魅力を感じる：55%」、「ある程度魅力を感じる：38%」と、回答した企業の93%が魅力を感じると回答があった。

3) 生物分野としては、従来の生物学に加え、生命科学分野の応用的研究も学べる生物科学プログラムを設ける。

「とても魅力を感じる：30%」,「ある程度魅力を感じる：54%」と、回答した企業の84%から魅力と感じると回答があった。

4) 各プログラムに国際コースを設け、国際的に活躍する能力を身につけた人材を育成する。

「とても魅力を感じる：41%」,「ある程度魅力を感じる：43%」と、回答した企業の84%から魅力を感じると回答があった。

5) 他学部（医・薬・経済・工学）との連携科目，データサイエンス，脱炭素・環境保全に関連した科目を増やし，社会で活躍するための能力と理学の枠を超えた幅広い学識をもつ人材を育成する。

「とても魅力を感じる：55%」,「ある程度魅力を感じる：42%」と、回答した企業の97%から魅力を感じると回答があった。

以上の結果から、理学部理学科で実施する教育や人材育成方針が多くの企業から支持を受けていると言える。

資料目次

(学生の確保の見通し等を記載した書類)

資料 1	富山大学における授業料その他の費用に関する規則	2
資料 2	富山大学経済学部経済経営学科（仮称）及び理学部理学科（仮称）に関するアンケート【高校生向け】	9
資料 3	「平成29年度～令和 3 年度 富山県及び全国の18歳人口の推移」, 「令和 4 年度～令和10年度 富山県及び全国の18歳人口の見込み数」	28
資料 4	平成30年度～令和 4 年度 富山大学理学部 入学者志願状況等.....	29
資料 5	富山大学理学部に関するアンケート【企業向け】	31
資料 6	富山大学理学部理学科構想説明資料【高校生・企業共通】	39

富山大学における授業料その他の費用に関する規則

平成17年10月1日制定	平成18年4月1日改正
平成18年9月21日改正	平成19年4月1日改正
平成20年4月1日改正	平成21年4月1日改正
平成22年4月1日改正	平成27年4月1日改正
平成29年7月11日改正	令和元年9月24日改正
令和2年3月24日改正	令和2年7月1日改正
令和4年3月30日改正	令和4年9月29日改正

(趣旨)

第1条 この規則は、国立大学法人富山大学（以下「本学」という。）における授業料その他の費用に関し、他の規則に別段の定めのあるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(授業料，入学料及び検定料の額)

第2条 本学において徴収する授業料（幼稚園にあつては、保育料。以下同じ。）の年額，入学料（幼稚園にあつては、入園料。以下同じ。）及び入学等に係る検定料は、次の表のとおりとする。

区分		授業料（年額）	入学料	検定料
大学の学部		535,800円	282,000円	17,000円
大学の夜間において授業を行う学部		267,900円	141,000円	10,000円
大学院の研究科，教育部及び学環		535,800円	282,000円	30,000円
転入学 編入学 再入学	大学の学部	535,800円	282,000円	30,000円
	大学院の研究科，教育部及び学環			
	大学の夜間において授業を行う学部	267,900円	141,000円	18,000円
研究生		(月額) 29,700円	84,600円	9,800円
科目等履修生		(1単位) 14,800円	28,200円	9,800円
特別聴講学生		(1単位) 14,800円	—	—
特別研究学生		(月額) 29,700円	—	—
幼稚園		73,200円	31,300円	1,600円
特別支援学校の高等部		4,800円	2,000円	2,500円

- 2 本学に附属して設置される小学校，中学校並びに特別支援学校の小学部及び中学部の入学料は、これを徴収しないものとする。
- 3 小学校及び中学校並びに特別支援学校の小学部及び中学部において、入学を許可するための試験，健康診断，書面その他による選考等を行った場合に徴収する検定料の額は、次の表のとおりとする。

区分	検定料
小学校	3,300円
中学校	5,000円
特別支援学校の小学部	1,000円
特別支援学校の中学部	1,500円

- 4 大学の学部において、出願書類等による選抜（学校推薦型選抜及び総合型選抜等において第1次選考として書類審査等を行う場合を含む。以下「第1段階選抜」という。）を行い、その合格者に限り学力検査その他による選抜（以下「第2段階選抜」という。）を行う場合及び個別学力検査出願受付後に大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願資格のない者（以下「個別学力検査出願無資格者」という。）であることが判明した場合の検定料は、第1項の規定にかかわらず、次の表の学部等の区分に応じ、第1段階選抜及び個別学力検査出願無資格者にあつては同表の中欄に掲げる額を、第2段階選抜にあつては同表の右欄に掲げる額のとおりとする。

区分	第1段階選抜	第2段階選抜
	個別学力検査出願無資格者	
大学の学部	4,000円	13,000円
大学の夜間において授業を行う学部	2,200円	7,800円

- 5 幼稚園、小学校、中学校及び特別支援学校において、抽選による選考等を行い、その合格者に限り試験、健康診断、書面その他による選考等（以下この項において「試験等」という。）を行う場合に係る検定料は、第1項及び第3項の規定にかかわらず、次の表の学校等の区分に応じ、抽選による選考等にあつては、同表の中欄に掲げる額を、試験等にあつては、同表の右欄に掲げる額のとおりとする。

区分	抽選による選考等	試験等
幼稚園	700円	900円
小学校	1,100円	2,200円
中学校	1,300円	3,700円
特別支援学校の小学部	500円	500円
特別支援学校の中学部	600円	900円
特別支援学校の高等部	700円	1,800円

- 6 幼稚園、小学校、中学校及び特別支援学校の転入学に係る入学料及び検定料は、次の表のとおりとする。

区分	入学料	検定料
幼稚園	31,300円	1,600円
小学校	—	3,300円
中学校	—	5,000円
特別支援学校の小学部	—	1,000円
特別支援学校の中学部	—	1,500円
特別支援学校の高等部	2,000円	2,500円

（長期履修に係る授業料）

第3条 学則第62条に規定する修業年限及び大学院学則第25条に規定する標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修して卒業又は修了することを認められた者から徴収する授業料の年額は、当該在学を認められた期間（以下「長期履修期間」という。）に限り、前条第1項に規定する授業料の年額に修業年限又は標準修業年限に相当する年数を乗じて得た額を長期履修期間の年数で除した額（その額に十円未満の端数があるときは、これを切り上げるものとする。）とする。

2 学部及び大学院研究科（教育部及び学環を含む。以下同じ。）において長期履修期間を短縮する変更が認められた場合の授業料の額は、初年度から変更後の長期履修期間により前項の規定に従い算出した額とし、変更前の授業料の額との差額については、長期履修期間を変更した最初の学期にそれを徴収する。

3 学部及び大学院研究科において長期履修期間の延長が認められた場合の授業料の額は、変更後の長期履修期間により第1項の規定に従い算出した額とし、既に履修した期間の授業料の額との差額については、その調整は行わない。

4 長期履修期間を超えてなお在学する者の授業料の額は、前条第1項に定める額とする。
（授業料の徴収方法等）

第4条 各年度に係る授業料の徴収は、当該年度において、学期その他の期間に区分して行うことを原則とする。ただし、学生又は生徒等の申出があったときは、一括して徴収することができる。

2 前項の規定にかかわらず、入学年度に係る授業料について、入学を許可される者の申出があったときは、入学年度の前年度において入学を許可するときにその一部又は全部を徴収することができる。

第5条 当該年度における在学期間が12月に満たない者の授業料は、授業料の年額の12分の1に相当する額に在学する月数（1月未満の端数があるときは、これを1月とする。）を乗じて得た額を徴収することを原則とする。

（入学料の徴収方法）

第6条 入学料は、入学を許可するときに徴収することを原則とする。

（検定料の徴収方法）

第7条 検定料は、入学、転入学、編入学又は再入学の出願（第2条第3項、第4項及び第5項に規定する場合を含む。）を受理するときに徴収することを原則とする。

（寄宿料の額等）

第8条 寄宿料の月額は、次の表の区分に応じ、それぞれ同表の右欄に掲げる額のとおりとする。

区分		寄宿料（月額）
新樹寮	S I	13,000円
	S II	18,000円
	D I	23,000円
五福国際交流会館	単身室	5,900円
	夫婦室	9,500円
	家族室	14,200円
杉谷国際交流会館	A室 世帯用（60㎡以上）	14,200円

	B室 世帯用 (50~60㎡)	11,900円
	C室 単身用 (25㎡以上)	5,900円

備考：新樹寮は、上記寄宿料のほか、維持管理費（共益費）月額2,000円を徴収する。

2 寄宿料は、寄宿舎に入居した日の属する月から退居する日の属する月まで、毎月その月の分を徴収することを原則とする。ただし、休業期間中の分は、休業期間前に徴収するものとする。

3 前項の規定にかかわらず、学生の申出又は承諾があったときは、その申出又は承諾があった月分の寄宿料を併せて徴収することができる。

第8条の2 前条の規定にかかわらず、寄宿料は、次の表の区分に応じ、それぞれ同表の右欄に掲げる額に、入居した日から退去する日までの日数を乗じた額とすることができる。

	区分	寄宿料（日額）
新樹寮	S I	900円
	S II	1,000円

2 寄宿料は、入居する日までに徴収することを原則とする。

（経済的負担の軽減のための措置）

第9条 本学は、学部及び大学院研究科の学生で経済的理由によって納付が困難であると認められる者その他のやむを得ない事情があると認められる者に対し、授業料、入学料又は寄宿料の全部若しくは一部の免除又は徴収の猶予その他の経済的負担の軽減を図るために必要な措置を講ずるものとする。

（研究生、科目等履修生、特別聴講学生及び特別研究学生の授業料の徴収方法）

第10条 研究生及び科目等履修生に係る授業料の徴収方法は、別に定める。

2 特別研究学生又は特別聴講学生に係る授業料の徴収方法は、研究生又は科目等履修生と同様とする。

第11条 削除

（学位論文審査手数料の額及び徴収方法）

第12条 学位論文審査手数料は1件について58,055円とし、学位授与の申請を受理するときに徴収するものとする。

2 本学大学院の博士課程に所定の修業年限以上在学し、所定の単位を修得して退学した者が、退学後1年以内に博士論文を提出した場合は、学位論文審査手数料を免除する。

（授業料免除等の取扱い）

第13条 授業料の免除の許可を受けた者について、免除の理由が消滅したことによりその免除を取り消した場合は、免除した前期及び後期の授業料の額を当該前期及び後期の月数で除して得た額に取り消しの日の属する月からその期の終わりの月までの月数を乗じて得た額を、取り消しの日の属する月に徴収するものとする。ただし、不正の事実の発見により取り消した場合にあっては、取り消しの日の属する月に、免除した前期又は後期の授業料の全額を徴収するものとする。

2 授業料の徴収猶予の許可を受けた者から授業料を徴収する時期は、徴収猶予の期間が満了する日の属する月とする。ただし、徴収猶予の理由が消滅したときは、その消滅した日の属する月に徴収するものとする。

3 月割分納による授業料の徴収猶予の許可を受けた者からは、毎月その月の分を徴収するものとする。ただし、休業期間中の分は、休業期間の開始前に徴収するものとする。

4 授業料の徴収猶予（月割分納による徴収猶予を含む。）の許可を受けた者が退学をする

場合は、その期において徴収するものとしている額を、退学の許可をするときに徴収するものとする。

- 5 前4項に規定するもののほか、授業料等の免除又は徴収猶予の実施について必要な事項は、別に定める。

(授業料等の不徴収)

第14条 本学大学院研究科の修士課程を修了し、引き続き本学大学院教育部の博士課程に進学する者については、入学料及び検定料を徴収しないものとする。

- 2 大学設置基準(昭和31年文部省令第28号)第28条並びに大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第13条及び第15条の規定に基づく措置により、本学において授業科目を履修する者(以下「特別聴講学生」という。)又は研究指導を受ける者(以下「特別研究学生」という。)に係る入学料及び検定料は、徴収しないものとする。また、授業料については、特別聴講学生又は特別研究学生が公立大学又は私立大学の学生であるときは、第2条で定める額を徴収し、国立大学法人法(平成15年法律第112号)に定める国立大学の学生であるときは徴収しないものとする。

- 3 大学間相互単位互換協定に基づく特別聴講学生に係る入学料及び検定料は、徴収しないものとする。また、次の基準を満たす場合は授業料を徴収しないものとする。

(1) 協定を締結する大学の学生が、相互にそれぞれ相手大学の授業科目を履修し、単位を修得することを認める協定であること。

(2) 締結する協定又はその付属書において、授業料が相互に不徴収とされていること。

(3) 締結する協定又はその付属書において、有効期間が記載されていること。

- 4 大学間特別研究学生交流協定に基づく特別研究学生に係る、入学料及び検定料は徴収しないものとする。また、次の基準を満たす場合は授業料を徴収しないものとする。

(1) 協定を締結する大学の大学院学生が、相互に当該他の大学院等において研究指導を受けることを認める協定であること。

(2) 締結する協定又はその付属書において、授業料が相互に不徴収とされていること及び有効期間が記載されていること。

- 5 相互に検定料及び入学料を不徴収とする大学間協定を締結した国立大学法人が設置する大学の大学院から本学の大学院に転入学を志願する者にあつては、検定料及び入学料を徴収しないものとする。

- 6 産業教育振興法に基づく内地留学生及び科学教育研究室の研究生等別途実施要項等による者については、授業料、入学料及び検定料を徴収しないものとする。

(外国人留学生)

第15条 大学間交流協定、学部間交流協定及びこれらに準ずるものに基づき受け入れる外国人留学生については、締結する協定書又はその付属書において、授業料、入学料及び検定料が相互に不徴収とされている場合は、授業料、入学料及び検定料を徴収しないものとする。

- 2 国費外国人留学生については、授業料、入学料及び検定料を徴収しないものとする。

- 3 前2項に掲げるもののほか、外国人留学生については、第2条から第10条まで、第12条から第14条までの規定を適用する。

(証明書の発行手数料の額及び徴収方法)

第16条 本学を卒業した者、修了した者、退学した者、除籍された者又は研究生、科目等履

修生、特別聴講学生若しくは特別研究学生であった者が、本学が指定した証明書交付願により交付申請する場合は、証明書1通当り500円の手数料を徴収するものとする。

- 2 前項の手数料は、交付申請を受理するときに徴収するものとする。
- 3 第1項の規定にかかわらず、次のいずれかに該当する場合は、手数料を徴収しないものとする。
 - (1) 本学の学生（研究生、科目等履修生、特別聴講学生及び特別研究学生を含む。）が申請する場合
 - (2) 附属学校に係る証明書を申請する場合
 - (3) 卒業、修了、退学又は除籍の日の属する月に申請する場合
 - (4) 外国に居住又は滞在している者が外国から直接申請する場合（納付した授業料等）

第17条 納付した検定料、入学料、授業料、寄宿料、受講料及び証明書の発行手数料（以下「授業料等」という。）は還付しない。ただし、次の各号の一に該当する場合には、納付した者の申出により当該各号に定める額を還付する。

- (1) 本学の入学者選抜において、出願書類等による第1段階目の選抜を行い、その合格者に限り学力検査その他による第2段階目の選抜を行う場合に、検定料を納付した者が、第1段階目の選抜で不合格となったとき及び個別学力検査出願無資格者であることが判明した場合 第2条第4項の選抜に係る検定料相当額
- (2) 入学を許可されるときに授業料を納付した者が、入学年度の前年度の3月31日までに入学を辞退した場合 当該授業料相当額
- (3) 前期分授業料徴収の際、後期分授業料を併せて納付した者が、9月末までに退学を許可された場合 後期分の授業料相当額
- (4) 前期分授業料徴収の際、後期分授業料を併せて納付した者が、10月末までに休学を許可され、又は命じられた場合 後期分の授業料から後期の在籍月数分を差引いた残月数分の授業料相当額
- (5) 研究生が、在学期間の中で退学した場合 納付された授業料から在学月数分を差引いた残月数分の授業料相当額
- (6) その他学長が、授業料等を返還するのが相当であると認めた場合 当該授業料等相当額

附 則

- 1 この規則は、平成17年10月1日から施行する。
- 2 平成10年度以前入学生の授業料の額については、第2条の規定にかかわらず、次の表のとおりとする。

区分	入学年度	授業料（年額）
大学の学部	平成7・8年度入学生	447,600円
	平成9・10年度入学生	469,200円
大学の夜間において授業を行う学部	平成9・10年度入学生	234,600円
大学院学生	平成9・10年度入学生	469,200円

- 3 第10条の規定にかかわらず、高岡キャンパスにおいて平成18年3月31日まで実施する公開講座の講習料及び公開授業の受講料については、1時間につき420円とする。

附 則

- 1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。ただし、第14条第5項の規定は、平成18年度の転入学者から適用する。
- 2 この規則の施行前に認められた長期履修にかかる授業料の算出については、第3条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成18年9月21日から施行し、平成18年9月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行の日前に、新樹寮に入寮している者で、この規則の施行後に引き続き新樹寮に入寮する者の寄宿料の額は、改正後の第8条第1項の規定にかかわらず、平成24年3月31日までの間、月額700円とする。ただし、当該期間中に入寮生の申請により、改修後の居室に移動した場合は、改正後の第8条第1項の規定による。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成29年10月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和元年10月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和2年7月1日から施行し、令和2年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和4年9月29日から施行する。

富山大学 経済学部経済経営学科(仮称)及び理学部理学科(仮称)に関するアンケート結果

■調査の概要

(1) 調査の対象

過去5年間に両学部もしくはどちらか一方に入学実績のある富山県, 石川県, 福井県, 岐阜県, 長野県の5県の高等学校 34 校の高校2年生

(2) 調査方法

上記対象学生に, 構想説明資料の提示を行った上で, アンケートへの回答を依頼した。なお, アンケートはウェブ上で実施した。

(3) 回答数

4,294 件

(4) 調査期間

令和5年2月3日(金) ~ 2月22日(水)

(5)調査項目

- ・性別
- ・在籍学科
- ・高校所在地
- ・所属クラス
- ・卒業後の進路
- ・興味のある学問分野
- ・「経済学部経済経営学科」, 「理学部理学科」の特色に対する魅力度
- ・「経済学部経済経営学科」, 「理学部理学科」に対する受験希望
- ・「経済学部経済経営学科」, 「理学部理学科」に対する入学希望

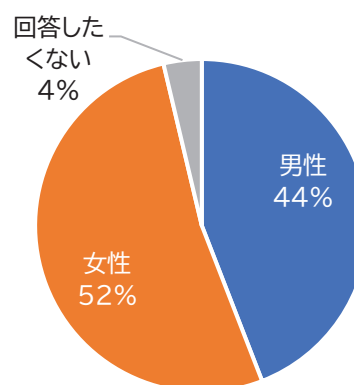
富山大学 経済学部経済経営学科(仮称)及び理学部理学科(仮称)に関する

アンケート集計

回答数：4,294 件

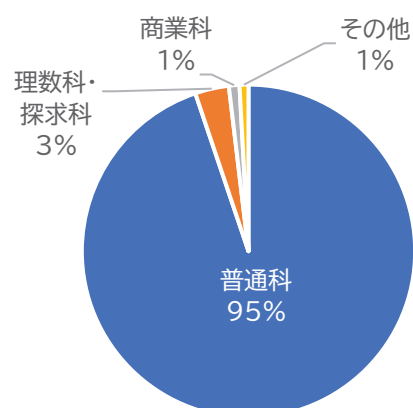
1. あなたの性別

男性	1,894
女性	2,241
回答したくない	159



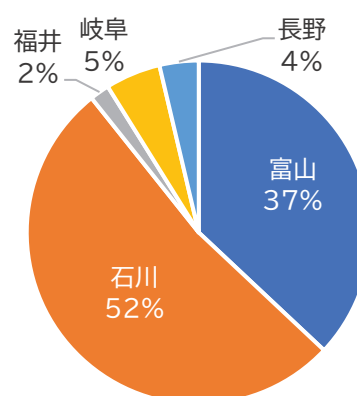
2. 在籍学科

普通科	4,072
理数科・探求科	141
商業科	44
その他	37



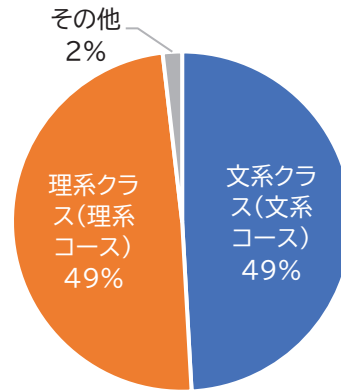
3. 高校所在地

富山	1,589
石川	2,245
福井	79
岐阜	223
長野	158

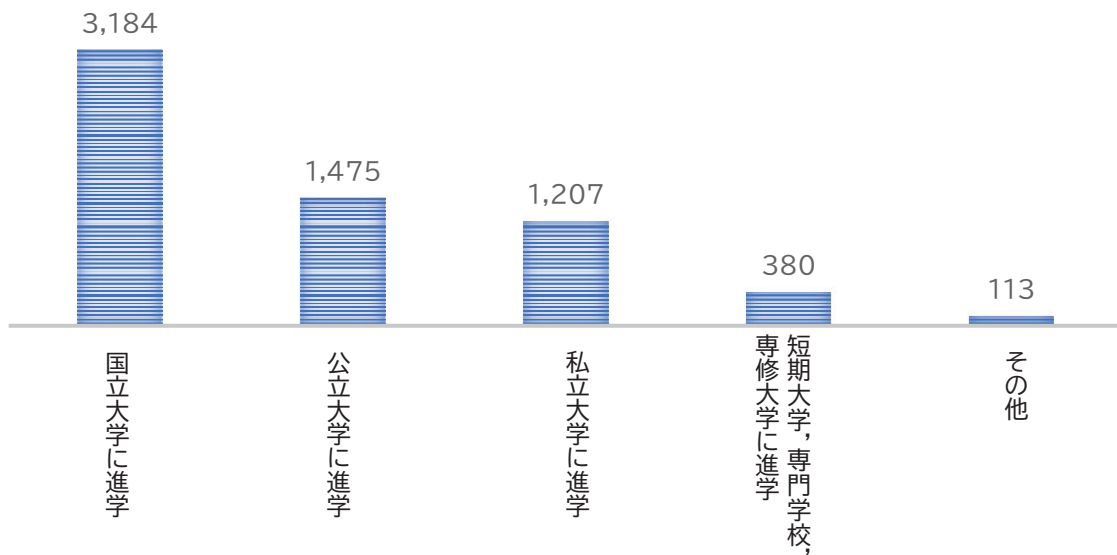


4. 所属クラス

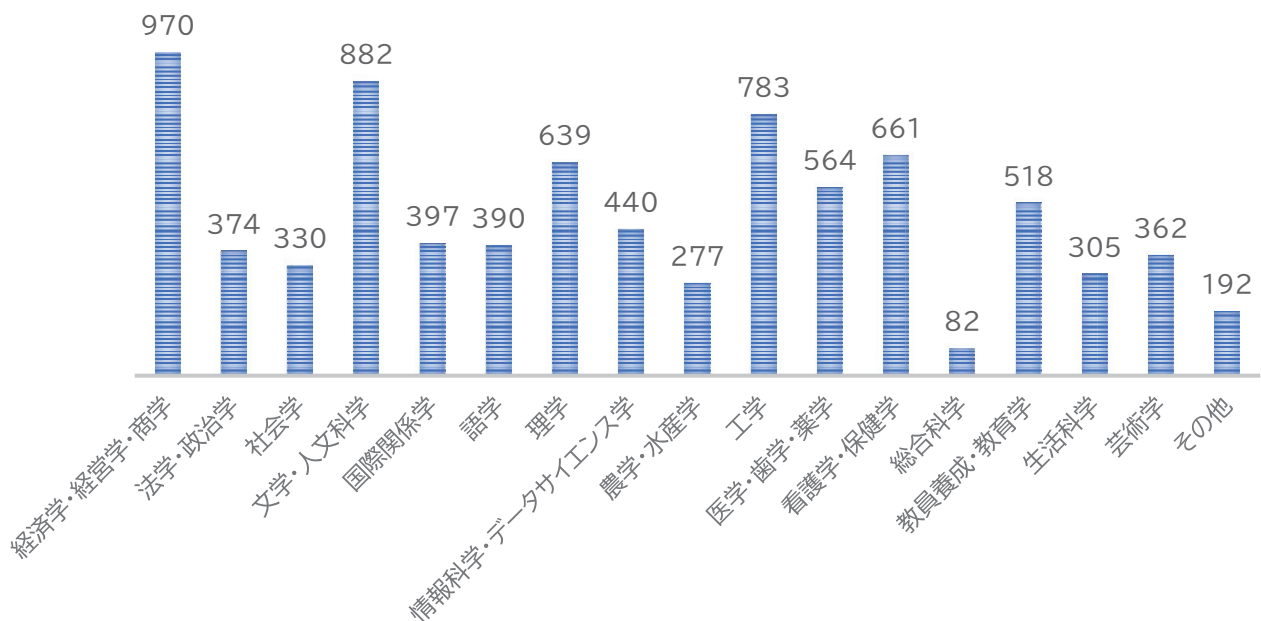
文系クラス（文系コース）	2,109
理系クラス（理系コース）	2,106
その他	79



5. 高校卒業後の進路の進路について、現時点ではどのように考えていますか。(複数選択可)



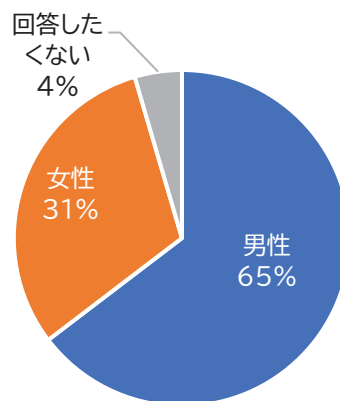
6. あなたは、どのような学問に興味がありますか。(複数選択可)



以下は、「問6 あなたは、どのような学問に興味がありますか」で「理学」「情報科学・データサイエンス学」「農学・水産学」のうち少なくとも1つに興味があると回答し、**理学部の設問に回答があった970件**を対象として集計する。

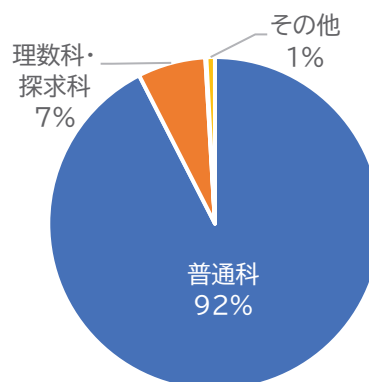
1. あなたの性別

男性	627
女性	299
回答したくない	44



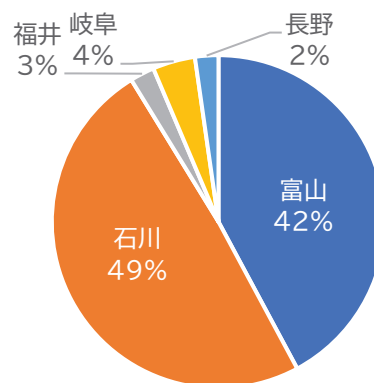
2. 在籍学科

普通科	897
理数科・探求科	64
商業科	1
その他	8



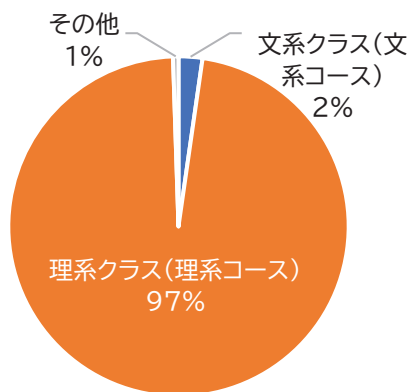
3. 高校所在地

富山	409
石川	476
福井	23
岐阜	40
長野	22

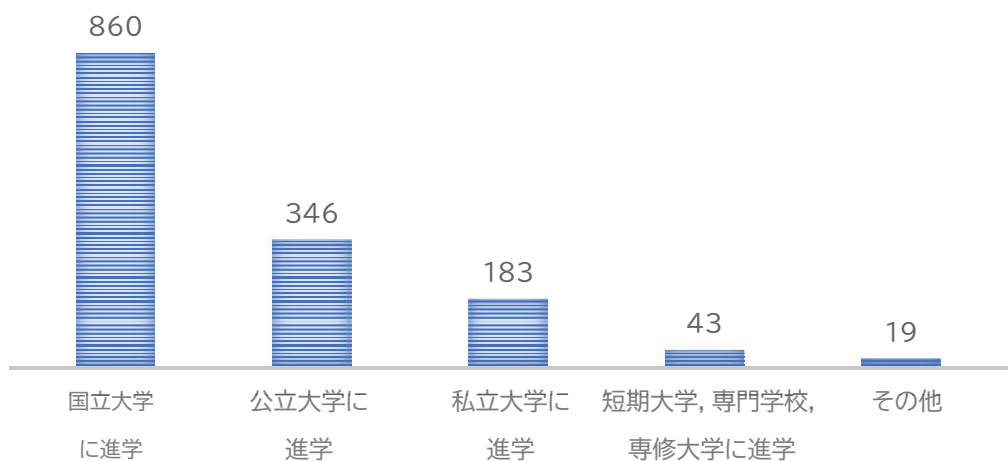


4. 所属クラス

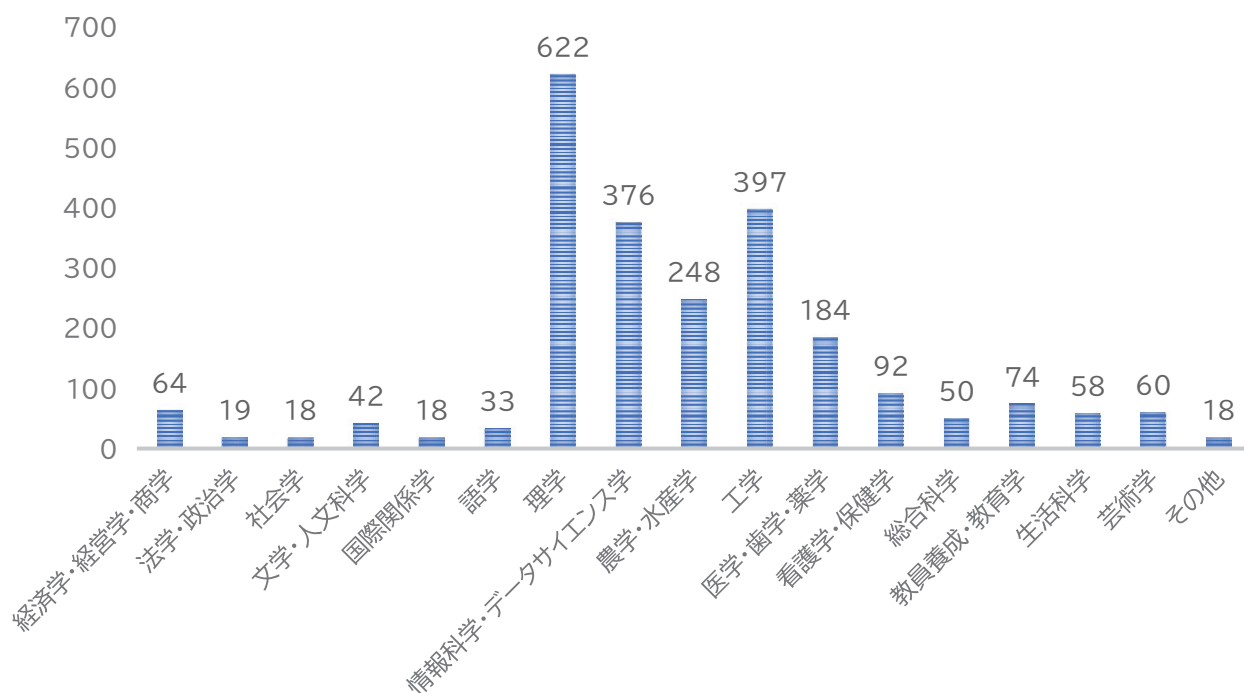
文系クラス（文系コース）	22
理系クラス（理系コース）	943
その他	5



5. 高校卒業後の進路の進路について、現時点ではどのように考えていますか。(複数選択可)

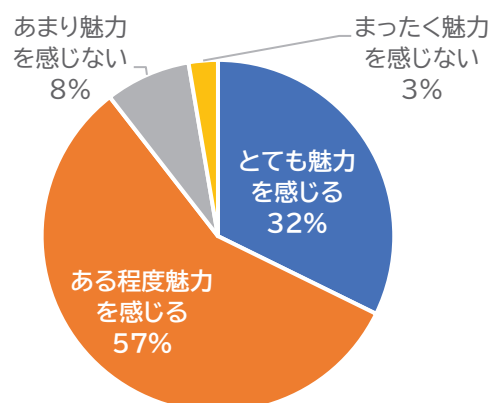


6. あなたは、どのような学問に興味がありますか。(複数選択可)



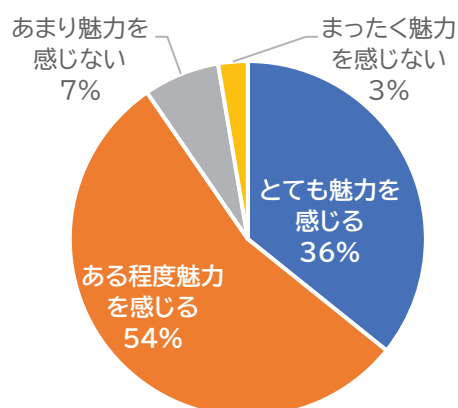
7. 入学後に専門分野を選択するカリキュラムとなっており，1年生で理学の基礎を学んだ後に，2年生で自分の学びたいプログラムを6プログラムから選択できます。

とても魅力を感じる	313
ある程度魅力を感じる	555
あまり魅力を感じない	76
まったく魅力を感じない	26



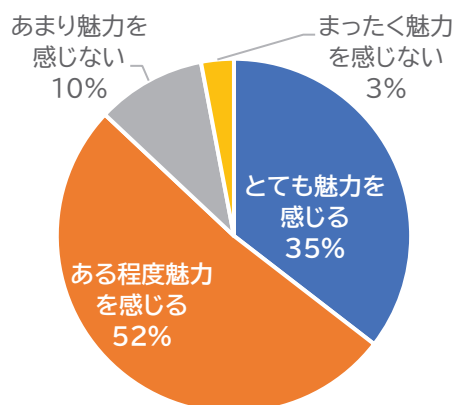
8. 各プログラムでは，それぞれの専門分野の内容を深く学ぶと同時に，異なるプログラムの科目を学び，幅広く理学の知識を身につけることができます。

とても魅力を感じる	347
ある程度魅力を感じる	530
あまり魅力を感じない	67
まったく魅力を感じない	26



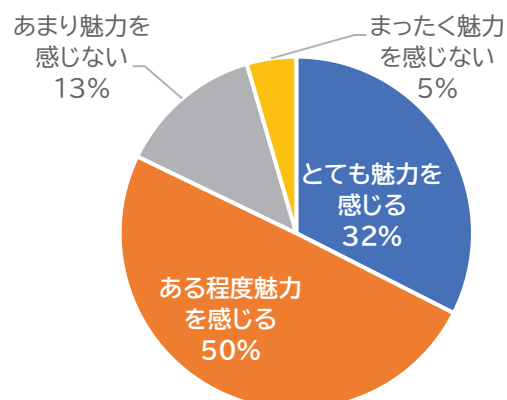
9. 新たに設けた数理情報学プログラムでは，数理情報のエキスパートとして情報化社会で活躍する能力を身につけることができます。また，生物科学プログラムでは，生物学に加え，生命科学に関する応用的な知識や技術を身につけることができます。

とても魅力を感じる	344
ある程度魅力を感じる	500
あまり魅力を感じない	97
まったく魅力を感じない	29



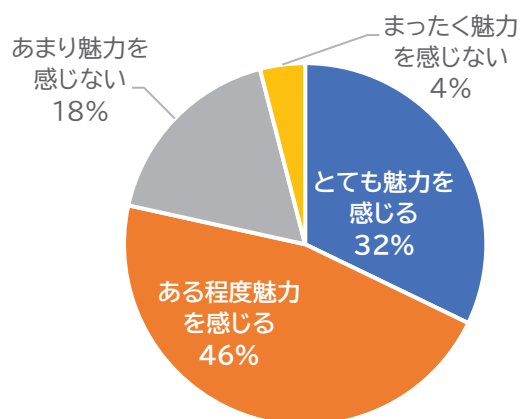
10. 医療やSDGsなどに関して他学部と連携した科目があり、社会で活躍するための能力と専門分野の枠を超えた幅広い知識を身につけることができます。

とても魅力を感じる	315
ある程度魅力を感じる	482
あまり魅力を感じない	129
まったく魅力を感じない	44



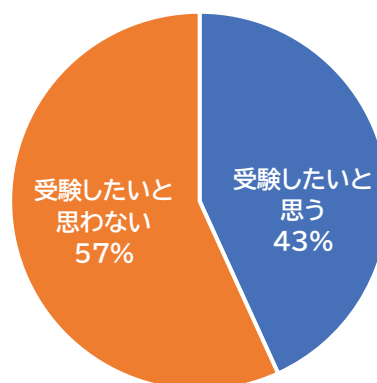
11. 各プログラムには国際コースがあり、国際コース選択者は、留学に必要な語学力を身につける科目や海外研修により、国際的な視野と海外でも活躍できる力が身に付きます。

とても魅力を感じる	312
ある程度魅力を感じる	449
あまり魅力を感じない	170
まったく魅力を感じない	39



12. 富山大学「理学部理学科（仮称，設置構想中）」を受験してみたいと思いますか。

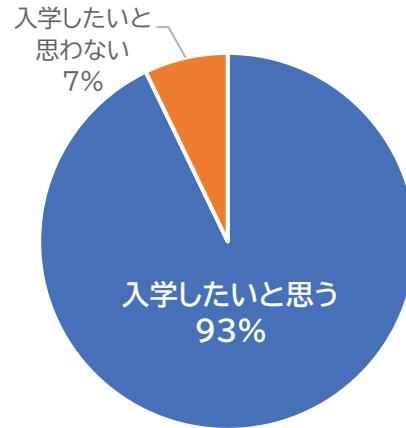
受験したいと思う	419
受験したいと思わない	551



以下は、前項目にて「受験したいと思う」と回答した 419 件を総数として集計

13. 富山大学「理学部理学科（仮称，設置構想中）」に合格したら入学したいと思いますか。

入学したいと思う	389
入学したいと思わない	30



富山大学 経済学部経済経営学科 (仮称) 及び理学部理学科 (仮 称) に関するアンケート

富山大学では、令和6年(2024年)4月に「経済学部経済経営学科」(仮称)及び「理学部理学科」(仮称)を設置することを構想しています。このアンケートは、高校生の皆さんから進学選択に関する考え方や、大学で学びたいことなどの意見をお聞きし、富山大学の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただくものです。アンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。また、回答内容によって、皆さんに不利益が生じることはありません。ぜひアンケートへご協力をお願いいたします。

* 必須

1. 最初にあなたについてお聞きします。

1. あなたの性別 *

- 男性
- 女性
- 回答したくない

2. 在籍学科 *

- 普通科
- 商業科
- 理数科・探求科
- その他

3. 高校所在地 *

- 富山
- 石川
- 福井
- 岐阜
- 長野

4. 所属クラス *

- 文系クラス（文系コース）
- 理系クラス（理系コース）
- その他

2. 高校卒業後の進路や興味のある学びについてお聞きしま

5. あなたは、高校卒業後の進路の進路について、現時点ではどのように考えていますか。

以下の項目から、選択してください（複数選択可）

*

- 国立大学に進学
- 公立大学に進学
- 私立大学に進学
- 短期大学, 専門学校, 専修大学に進学
- その他

6. あなたは、どのような学問に興味がありますか。
以下の項目から、興味のある学問系統を選択してください。（複数選
択可）

（現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお
答えください） *

- 経済学・経営学・商学
- 法学・政治学
- 社会学
- 文学・人文科学（心理学、考古学、地理学、歴史学、哲学など含む）
- 国際関係学
- 語学（言語学含む）
- 理学
- 情報科学・データサイエンス学
- 農学・水産学（獣医含む）
- 工学
- 医学・歯学・薬学
- 看護学・保健学
- 総合科学
- 教員養成・教育学
- 生活科学（食物・栄養学・被服学など含む）
- 芸術学（美術・デザイン、音楽など含む）
- その他

7. これ以降は経済学部と理学部についての質問になります。
回答したい項目をお選びください。 *

- 経済学部・理学部ともに回答する（残り13問）
- 経済学部についてのみ回答する（残り7問）
- 理学部についてのみ回答する（残り6問）

3 富山大学「経済学部経済経営学科（仮称）」についてお聞きします。

令和6年（2024年）4月に「経済学科」「経営学科」「経済法学科」の3学科を1学科に改編して、新たに「経済学部経済経営学科」（仮称）を設置することを構想しています。ここからは、富山大学経済学部経済経営学科のパンフレットを見てからお答えください。

富山大学「経済学部経済経営学科（仮称、設置構想中）」には、以下のような特色があります。あなたはどの程度魅力を感じますか。

8. 経済・経営・法律の3分野を学べる体制を維持したまま1学科のもと3つのプログラム（企業経営・公共政策・経済データサイエンス）に再編します。入学後に自分の学びたいことや適性を踏まえてプログラムを選択することができるようになります。*

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

9. 経済・経営・法律の3分野をまとめて1学科となるため、学際的・分野横断的な学びを通じて幅広い知識を身につけることで、課題解決に対して新たな視点から柔軟に発想・創造する力を養うことができます。*

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

10. どのプログラムに所属してもデータサイエンスの素養を身につける教育プログラムを用意しており、社会科学分野の知識を統合しデータを分析・活用しながらビジネス・社会課題を解決する実践的な能力を身につけることができます。 *

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

11. 経済データサイエンスプログラムでは、大学院（持続可能社会創成学環社会データサイエンスプログラム）への進学を視野に入れた、より高度なデータサイエンスの知識・技術を身につけることができます。 *

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

12. 富山大学「経済学部経済経営学科（仮称、設置構想中）」を受験してみたいと思いますか。あなたの気持ちに近い方を一つ選んでください。 *

- 受験したいと思う
- 受験したいと思わない

13. 富山大学「経済学部経済経営学科（仮称、設置構想中）」に合格したら入学したいと思いますか。あなたの気持ちに近い方を一つ選んでください。*

入学したいと思う

入学したいと思わない

14. 経済学部についての質問は以上です。理学部の質問に回答しますか？*

これで終了する。

理学部の質問に回答する。

4 富山大学「理学部理学科（仮称）」についてお聞きします。

令和6年（2024年）4月に「数学科」「物理学科」「化学科」「生物学科」「自然環境科学科」の5学科を1学科に改編して、新たに「理学部理学科」（仮称）を設置することを構想しています。

ここからは、富山大学理学部理学科のパンフレットを見てからお答えください。

15. 入学後に専門分野を選択するカリキュラムとなっており、1年生で理学の基礎を学んだ後に、2年生で自分の学びたいプログラムを6プログラム（数学、数理情報学、物理学、化学、生物科学、自然環境科学）から選択できます。 *

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

16. 各プログラムでは、それぞれの専門分野の内容を深く学ぶと同時に、異なるプログラムの科目を学び、幅広く理学の知識を身につけることができます。 *

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

17. 新たに設けた数理情報学プログラムでは、数理情報のエキスパートとして情報化社会で活躍する能力を身につけることができます。また、生物科学プログラムでは、生物学に加え、生命科学に関する応用的な知識や技術を身につけることができます。 *

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

18. 医療やSDGsなどに関して他学部と連携した科目があり、社会で活躍するための能力と専門分野の枠を超えた幅広い知識を身につけることができます。 *

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

19. 各プログラムには国際コースがあり、国際コース選択者は、留学に必要な語学力を身につける科目や海外研修により、国際的な視野と海外でも活躍できる力が身に付きます。 *

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

20. 富山大学「理学部理学科（仮称、設置構想中）」を受験してみたいと思いますか。あなたの気持ちに近い方を一つ選んでください。*

- 受験したいと思う
- 受験したいと思わない

21. 富山大学「理学部理学科（仮称、設置構想中）」に合格したら入学したいと思いますか。あなたの気持ちに近い方を一つ選んでください。*

- 入学したいと思う
- 入学したいと思わない

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。

 Microsoft Forms

平成29年度～令和3年度 富山県及び全国の18歳人口の推移

(人)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
富山県	男	5,122	5,319	5,121	5,082	4,774
	女	4,947	4,869	4,845	4,812	4,484
	計	10,069	10,188	9,966	9,894	9,258
全国	男	612,000	613,000	597,000	593,000	575,000
	女	579,000	577,000	567,000	563,000	543,000
	計	1,191,000	1,190,000	1,163,000	1,157,000	1,118,000

出典：「人口推計」（総務省統計局），富山県

人口はその年の10月1日現在18歳の人口である。全国は日本人人口である。

令和4年度～令和10年度 富山県及び全国の18歳人口の見込み数

(人)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	R10/R4比
富山県	男	4,929	4,697	4,598	4,470	4,395	4,337	4,182	84.8%
	女	4,600	4,260	4,237	4,205	4,286	4,091	4,039	87.8%
	計	9,529	8,957	8,835	8,675	8,681	8,428	8,221	86.3%
全国	男	568,000	546,000	545,000	549,000	551,000	542,000	539,000	94.9%
	女	539,000	518,000	519,000	522,000	525,000	515,000	512,000	95.0%
	計	1,107,000	1,064,000	1,063,000	1,071,000	1,076,000	1,056,000	1,050,000	94.9%

17歳人口 16歳人口 15歳人口 14歳人口 13歳人口 12歳人口 11歳人口

出典：「人口推計」（総務省統計局），富山県

令和3年10月1日現在を基準に、令和4年～令和10年度の18歳人口の見込み数を算出。

全国は日本人人口である。

平成30年度～令和4年度 富山大学理学部 入学者志願状況等

富山大学理学部【全体】

	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	入学者数	充足率
平成30年度	190	1,456	7.7	1,058	5.6	223	200	1.05
平成31年度	190	1,551	8.2	1,209	6.4	225	195	1.02
令和2年度	190	1,409	7.4	1,045	5.5	223	197	1.03
令和3年度	190	1,233	6.5	861	4.5	222	203	1.06
令和4年度	193	1,394	7.2	941	4.9	236	197	1.02
平均		1,409	7.4	1,023	5.4	226	198	1.04

数学科

	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	入学者数	充足率
平成30年度	50	438	8.8	320	6.4	59	51	1.02
平成31年度	50	388	7.8	287	5.7	57	50	1.00
令和2年度	50	421	8.4	306	6.1	59	51	1.02
令和3年度	50	357	7.1	254	5.1	58	52	1.04
令和4年度	45	296	6.6	206	4.6	53	48	1.06
平均		380	7.7	275	5.6	57	50	1.02

物理学科

	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	入学者数	充足率
平成30年度	40	266	6.7	177	4.4	47	42	1.05
平成31年度	40	392	9.8	285	7.1	47	40	1.00
令和2年度	40	334	8.4	246	6.2	49	42	1.05
令和3年度	40	312	7.8	198	5	49	45	1.12
令和4年度	40	365	9.1	234	5.9	56	40	1.00
平均		334	8.4	228	5.7	50	42	1.04

化学科

	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	入学者数	充足率
平成30年度	35	132	3.8	81	2.3	42	37	1.05
平成31年度	35	174	5	119	3.4	43	38	1.08
令和2年度	35	148	4.2	87	2.5	42	37	1.05
令和3年度	35	125	3.6	68	1.9	42	37	1.05
令和4年度	35	268	7.7	147	4.2	42	36	1.02
平均		169	4.9	100	2.9	42	37	1.05

生物学科

	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	入学者数	充足率
平成30年度	35	254	7.3	153	4.4	40	37	1.05
平成31年度	35	257	7.3	184	5.3	40	37	1.05
令和2年度	35	239	6.8	149	4.3	40	37	1.05
令和3年度	35	207	5.9	117	3.3	39	36	1.02
令和4年度	38	222	5.8	123	3.2	45	38	1.00
平均		236	6.6	145	4.1	41	37	1.03

生物圏環境科学科

	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	入学者数	充足率
平成30年度	30	366	12.2	327	10.9	35	33	1.10
平成31年度	30	340	11.3	334	11.1	38	30	1.00
令和2年度	30	267	8.9	257	8.6	33	30	1.00
令和3年度	30	232	7.7	224	7.5	34	33	1.10
令和4年度	35	243	6.9	231	6.6	40	35	1.00
平均		290	9.4	275	8.9	36	32	1.03

※帰国学生，社会人特別選抜を含み，私費外国人留学生は除く

富山大学 理学部に関するアンケート結果

■調査の概要

(1) 調査の対象

過去5年間の本学部の卒業生の就職先である企業・行政機関等 315 社の採用担当者

(2) 調査方法

上記対象企業に、構想説明資料の提示を行った上で、アンケートへの回答を依頼した。なお、アンケートはウェブ上で実施した。

(3) 回答数

69 件 (21.9%)

(4) 調査期間

令和5年 2 月 3 日(金) ~ 2 月 24 日(金)

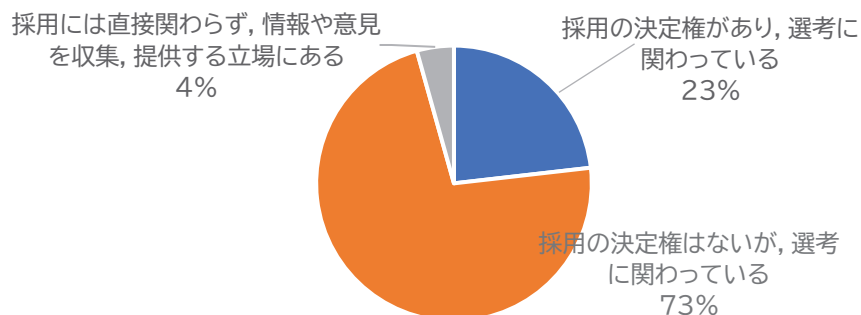
(5)調査項目

- ・ 人事採用への関与度
- ・ 勤務先の主な業種
- ・ 従業員数
- ・ 本社・事業所所在地
- ・ 正規社員の平均採用人数
- ・ 過去3か年の平均的な正規社員採用数
- ・ 本年度の採用予定数(昨年度比)
- ・ 採用したい学問系統
- ・ 理学部 理学科 の特色に対する魅力度
- ・ 理学部 理学科 卒業生に対する採用意向
- ・ 理学部 理学科 卒業生の毎年の採用想定

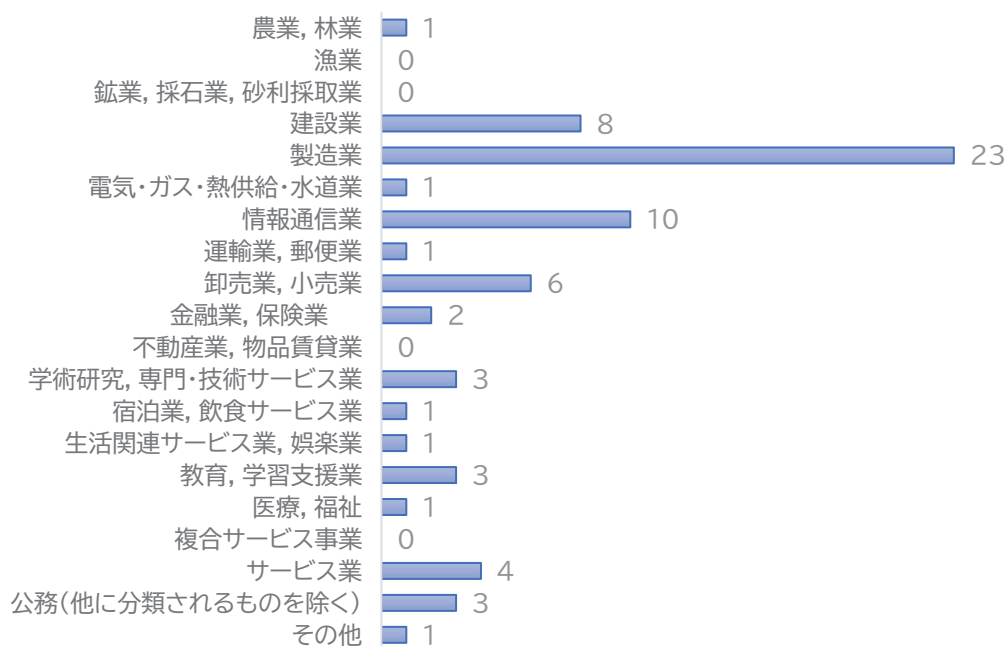
富山大学理学部に関するアンケート集計

回答数：69件

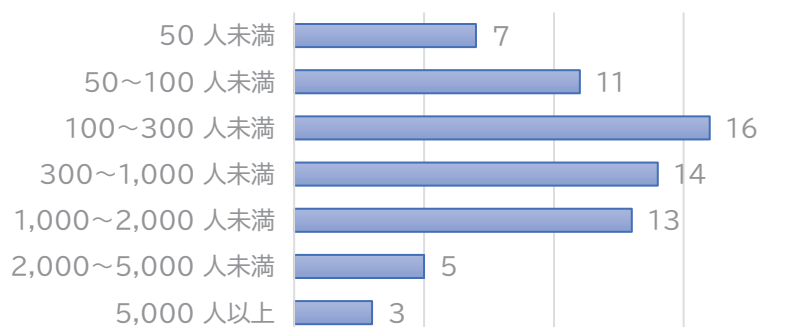
1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度を教えてください。



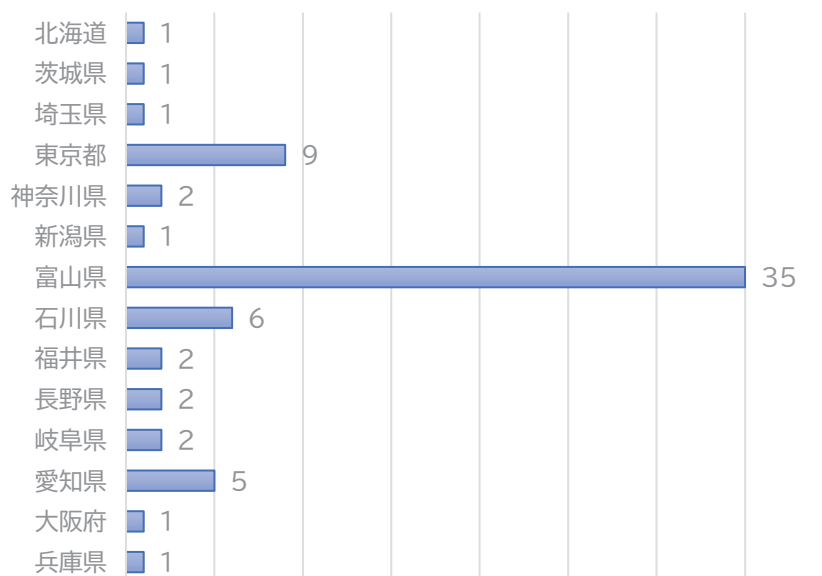
2. 貴社・貴団体の業種についてご回答ください。



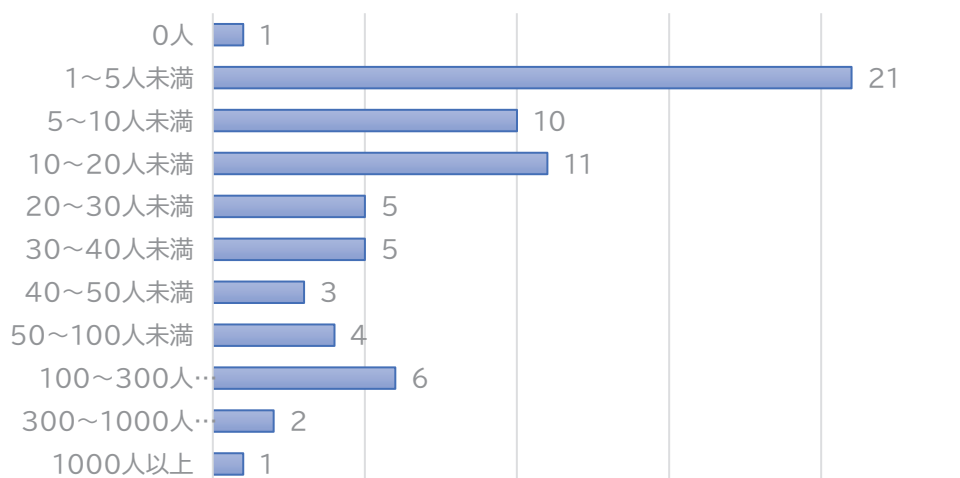
3. 貴社・貴団体の従業員数（正規社員数）について、ご回答ください。



4. 貴社・貴団体の所在地（都道府県）をお選びください。

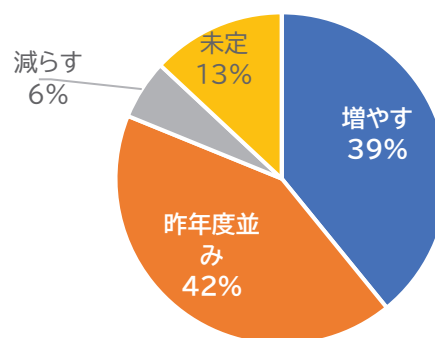


5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数についてご回答ください。



6. 貴社・貴団体での本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。

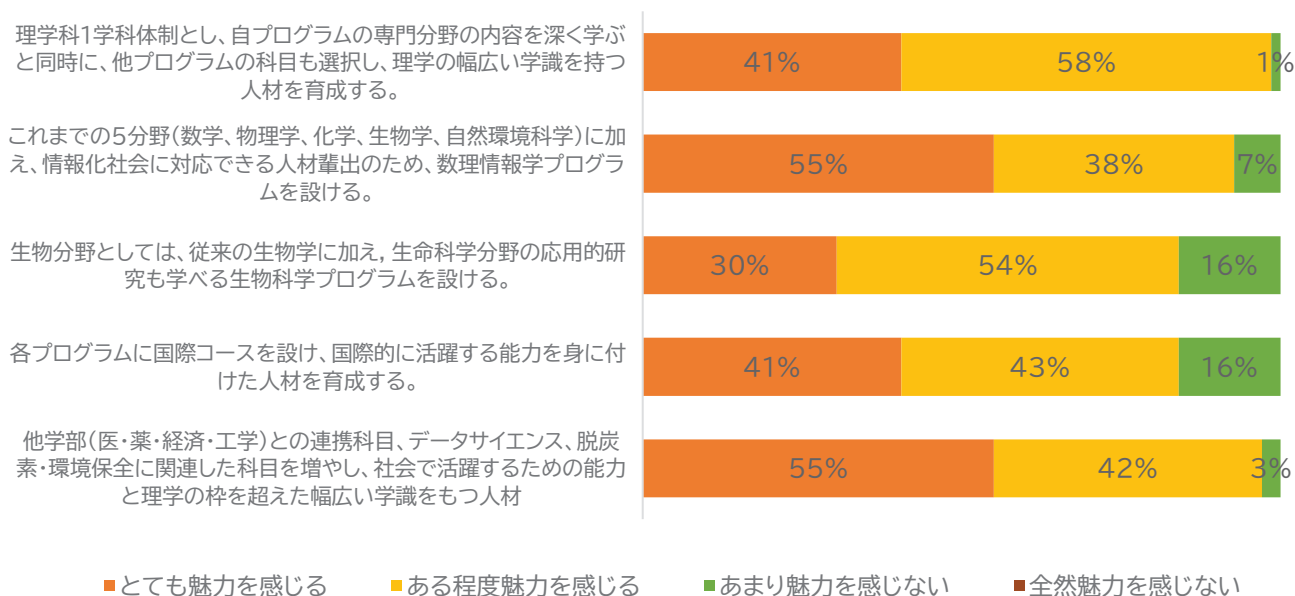
増やす	27
昨年度並み	29
減らす	4
未定	9
採用予定なし	0
見送り（中止）	0



7. 貴社・貴団体では、どのような系統の学部を卒業した人物を採用したいとお考えですか。

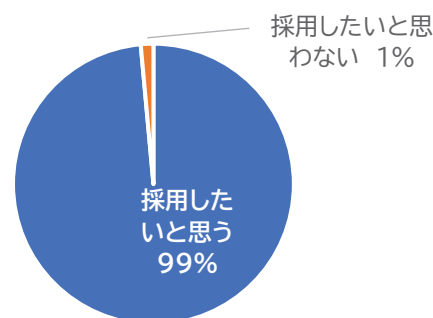


8. これらの特色はそれぞれどの程度魅力を感じますか



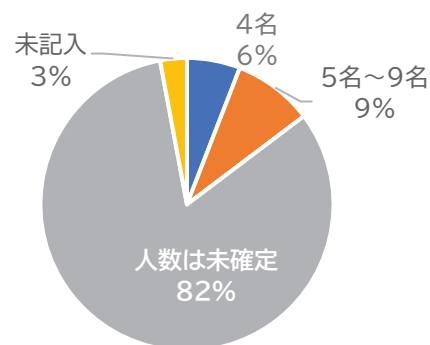
9. 富山大学理学部理学科もしくは大学院を修了した学生を採用したいと思われませんか。

採用したいと思う	68
採用したいと思わない	1



10. 採用される場合、卒業した学生を毎年何人程度の採用を想定されますか。

1名	16
2名	10
3名	9
4名	2
5名～9名	3
人数は未確定	28
未記入	1



富山大学理学部に関するアンケート

富山大学理学部では、数学科、物理学科、化学科、生物学科、自然環境科学科の5学科から、理学科6プログラム制（数理情報学プログラム、数学プログラム、物理学プログラム、化学プログラム、生物科学プログラム、自然環境科学プログラム）への改組を構想しています。

このアンケートは皆様からご意見を伺い、より充実した教育にするための参考資料とさせていただきますので、ぜひともご協力をお願いいたします。

なお、貴社（貴事業所）からいただいた回答は統計的に処理し、個別の情報が公表されることはありません。

Q 1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度を教えてください。

1. 採用の決定権があり、選考に関わっている
2. 採用の決定権はないが、選考に関わっている
3. 採用には直接関わらず、情報や意見を収集、提供する立場にある

Q 2. 貴社・貴団体の業種についてご回答ください。（主たるものを1つ）

1. 農業，林業
2. 漁業
3. 鉱業，採石業，砂利採取業
4. 建設業
5. 製造業
6. 電気・ガス・熱供給・水道業
7. 情報通信業
8. 運輸業，郵便業
9. 卸売業，小売業
10. 金融業，保険業
11. 不動産業，物品賃貸業
12. 学術研究，専門・技術サービス業
13. 宿泊業，飲食サービス業
14. 生活関連サービス業，娯楽業
15. 教育，学習支援業
16. 医療，福祉
17. 複合サービス事業
18. サービス業（他に分類されないもの）
19. 公務（他に分類されるものを除く）
20. その他（ ）

※上記の分類は、日本標準産業分類（総務省）による分類です。

Q 3. 貴社・貴団体の従業員数（正規社員数）について、ご回答ください。

1. 50 人未満
2. 50～100 人未満
3. 100～300 人未満
4. 300～1,000 人未満
5. 1,000～2,000 人未満
6. 2,000～5,000 人未満
7. 5,000 人以上

Q 4. 貴社・貴団体の所在地（都道府県）をお選びください。貴社が事業所ごとの採用を行っており、事業所において本調査に回答される場合は、当該事業所の所在地をお選びください。

Q 5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数についてご回答ください。

_____人

Q 6. 貴社・貴団体での本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまるもの1つ)

1. 増やす 2. 昨年度並み 3. 減らす
4. 未定 5. 採用予定なし 6. 見送り(中止)

Q 7. 貴社・貴団体では、どのような系統の学部を卒業した人物を採用したいとお考えですか。(あてはまるものすべてお選びください)

1. 文学系統 2. 語学系統 3. 法学系統
4. 経済・経営・商学系統 5. 社会学系統 6. 国際関係学系統
7. 教員養成・教育学系統 8. 生活科学系統 9. 芸術系統
10. 複合科学系統 11. 看護・保健学系統 12. 医・歯・薬学系統
13. 理学系統 14. 工学系統 15. 農・水産学系統
16. その他 17. 学部・学問系統にこだわらない

ここからは、同封しております資料をご覧いただいた上でご回答ください。

貴社・貴団体(ご回答者)は、これらの特色にそれぞれどの程度の魅力を感じますか。

Q 8. 富山大学理学部理学科には、以下の特色があります。貴社・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれどの程度魅力を感じますか。

理学科の特色		とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	全然魅力を感じない
A	理学科1学科体制とし、自プログラムの専門分野の内容を深く学ぶと同時に、他プログラムの科目も選択し、理学の幅広い学識を持つ人材を育成する。	1	2	3	4
B	これまでの5分野(数学, 物理学, 化学, 生物学, 自然環境科学)に加え、情報化社会に対応できる人材輩出のため、数理情報学プログラムを設ける。	1	2	3	4

C	生物分野としては、従来の生物学に加え、生命科学分野の応用的研究も学べる生物学プログラムを設ける。	1	2	3	4
D	各プログラムに国際コースを設け、国際的に活躍する能力を身に付けた人材を育成する。	1	2	3	4
E	他学部（医・薬・経済・工学）との連携科目、データサイエンス、脱炭素・環境保全に関連した科目を増やし、社会で活躍するための能力と理学の枠を超えた幅広い学識をもつ人材を育成する。	1	2	3	4

Q 9. 貴社・貴団体では、富山大学理学部理学科を卒業、もしくは卒業後に大学院を修了した学生を採用したいと思われませんか。

1. 採用したいと思う 2. 採用したいと思わない

Q 10. 採用される場合、卒業した学生を毎年何人程度の採用を想定されますか。（あてはまるものを1つ）

1. 1名 2. 2名 3. 3名 4. 4名
5. 5名～9名 6. 10名以上 7. 人数は未確定

アンケートは以上です、ご協力いただきありがとうございました。

カリキュラムの特色

▶ 入学後に専門分野を決定（レイトスペシャライゼーション）

1年次で、教養教育科目と理学部共通科目で一般教養と理学の各分野の基礎を学んだのち、2年次にプログラムを選択します。これにより、大学での学びを経験した後、理学の各分野を理解してから、興味のある専門分野を選ぶことができます。

▶ 専門性を高め、幅広い理学の学識を身に付けるプログラム専門科目

幅広く専門的な知識を学修するために、教養教育科目、理学部共通科目、プログラム専門科目、横断科目に加えて、国際コースを選択した学生向けの国際化対応科目も開講します。

また、2・3年次には、プログラム専門科目の講義や実験科目により各専門分野の基盤・発展的な内容を学びます。幅広い理学の学識を身に付けるために異なるプログラムの科目も履修します。4年次には、専門教育の集大成として卒業研究を行います。

▶ 社会で活躍する能力を身に付ける科目

データサイエンスやSDGsをはじめとした、理学の専門分野の枠を超えた幅広い学識や社会で活躍するための素地を身に付けることができます。さらに社会科学、工学、医学、薬学などとの分野横断的な教育も受けることができます。

入学料・授業料（2022年4月現在）

入学料	授業料
282,000円	535,800円

（富山大学における授業料その他の費用に関する規則に基づく）

類似する大学

- ・信州大学理学部
- ・新潟大学理学部

アクセス

五福キャンパス

〒930-8555 富山市五福3190
代表電話: 076-445-6011

バス 富山きときと空港から富山駅まで約20分
富山駅[南口側]から約20分

市内電車 富山駅[南口側]から約15分

タクシー 富山きときと空港から約20分
富山駅[南口側]から約15分

車 北陸自動車道「富山西IC」から約15分
または「富山IC」から約20分

富山駅「富山駅」停留所 約15分 → 徒歩 → 「大学前」停留所 約5分 → 五福キャンパス

高岡キャンパス Takahashi Campus
〒931-8588 高岡市二上1190
代表電話: 0766-23-2111

- 看護文化学部

彩谷キャンパス Saginami Campus
〒930-0104 富山県彩谷2620
代表電話: 076-434-2381

- 医学部
- 工学部
- 経済学部
- 農学部
- 附属病院

五福キャンパス Gofuku Campus
〒930-8555 富山県五福3190
代表電話: 076-445-6011

- 人文学部
- 教育学部
- 経済学部
- 理学部
- 工学部
- 都市デザイン学部



2024年4月開設予定
(設置構想中)

※予定であり、今後変更する
場合があります



2024年4月 理学科 誕生

分野の垣根のその先へ

現在の理学部5学科（数学科、物理学科、化学科、生物学科、自然環境科学科）から理学科1学科へと改組します

教養教育を重視するとともに、理学全般の基礎学力や幅広い視野から課題解決ができる応用力を培う教育を推進します

国際コースを新たに設置し、3カ月以内の海外派遣を含めた語学力と国際性を身につけ国際的に活躍できる人材を育成します



プログラムの概要

1年次に「教養教育」と「理学部共通科目」を必修で学修し、2年進級時にプログラムを選択

数学プログラム

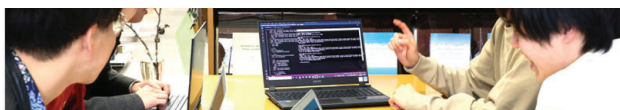


数学に関する深い学びにより、数学的な思考能力や社会の様々な要求に柔軟に対応し得る思考力を養い、数学が必要とされる多様な分野において活躍できる人材を育成します



- 進路**
- ・IT産業
 - ・金融業
 - ・教員（数学）
 - ・大学院進学（理工学研究科等）

数理情報学プログラム



基礎的な数学を基盤として、データサイエンスの能力を身に付け、現代の情報社会の様々な要求に柔軟に対応し活躍できる人材を育成します



- 進路**
- ・IT産業
 - ・情報通信産業
 - ・教員（情報）
 - ・大学院進学（理工学研究科等）

物理学プログラム



自然の仕組みを理解するために不可欠である物理学について学び、物理学的な広い視野に基づく問題解決能力及び応用力を身に付け、社会に貢献できる人材を育成します

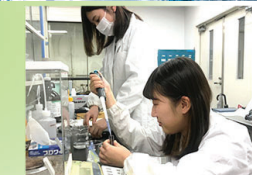


- 進路**
- ・製造業（電気・電子、機械関連等）
 - ・エネルギー産業
 - ・教員（理科）
 - ・大学院進学（理工学研究科等）

化学プログラム

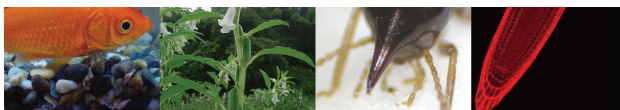


自然界の多様な物質の構造、物性、反応を原子分子レベルの観点から理解するための幅広い専門知識と化学的方法論を身に付け、社会に貢献できる人材を育成します



- 進路**
- ・製造業（化学、薬品、医療関連等）
 - ・エネルギー産業
 - ・教員（理科）
 - ・大学院進学（理工学研究科、医薬理工学環等）

生物科学プログラム



生命現象の普遍性・多様性、進化的意義や生命の尊厳について学び、生物学の専門知識だけでなく、生命科学分野の応用的な知識や技術を身に付け、社会に貢献できる人材を育成します



- 進路**
- ・製造業（薬品、食品、医療、バイオ関連等）
 - ・環境コンサルタント
 - ・教員（理科）
 - ・大学院進学（理工学研究科等、医薬理工学環等）

自然環境科学プログラム



物理学、化学、生物学、地球科学を基礎とした環境科学を学び、地球環境の大切さを科学の目を通して理解し、環境科学の素養を活かして社会に貢献できる人材を育成します



- 進路**
- ・製造業（バイオ、環境関連）
 - ・環境コンサルタント
 - ・教員（理科）
 - ・大学院進学（理工学研究科、持続可能社会創成学環等）

理学部理学科の概要

- ▶ 現在の理学部5学科（数学科、物理学科、化学科、生物学科、自然環境科学科）から**理学科1学科へと改組**
- ▶ 理学科には、**数学、数理情報学、物理学、化学、生物科学、自然環境科学の6プログラム**を置き、理学の各専門分野を学ぶことが可能（理学に関する幅広い教育を受けることができます）
- ▶ **データサイエンス**や、理学の専門分野の知識をもとに**持続可能社会に貢献するための知識を身に付けるグリーン科学**への学びを通じて、社会で活躍できる能力を身に付けることが可能
- ▶ 特色があるプログラムとして、**数理情報学プログラム**では、社会実装を強く意識したデータサイエンス科目を数多く履修することができ、**生物科学プログラム**では、生命科学分野の応用的研究も学ぶことが可能

新規開設

「国際コース」を新たに設置

- ▶ 全てのプログラムから選択可能となる「国際コース」では、理学部の専門分野の知識や技術に加えて、語学力と国際性を身に付ける教育を行い、国際的な視野で課題解決や情報発信し、地球規模で活躍できる人材を育成します。
- ・コース選択時期：2年進級時（いずれのプログラムに属していても国際コースを選択可能）
- ・海外派遣場所：連携拠点を中心にした大学等（トゥンクアブドゥル・ラーマン大学（マレーシア））などのアセアン諸国
- ・派遣期間：3か月以内
- ・派遣内容：研究室見学、異文化体験、語学研修など
- ・国際コースの主な科目：英語コミュニケーション、海外研修

